

全学の就職センターが「海外職場体験ツアー」といって、学生を4人集めて自費4万円で1週間シンガポールに送ってくれるというイベントがあるという情報を仕入れました。募集要項には「就職活動に活かすために」と明記してあったので、医学部にいる自分は対象外だろうと思い、ダメもとで面接を受けましたが、将来の夢など思いの丈を話すと採用していただきました。蓋を開けると僕以外にも医学部の後輩（男）が一人、教育学部の女の子2人という構成でした。写真がその模様です。色んな人に会って、色んなことを見聞きました。とっても楽しかったです！引率の就職センター長を務める先生は個性的で、また大学が用意してくれたプログラムの中で会った経営者、飲食店オーナー、シンガポール大学の学生などから聞く話は、とても新鮮で刺激的でした。当時まだ進級は決まっておらず、産婦人科の追試レポート期限も迫っていましたが、そんなこと完全に忘れていました。メンバーの中のもう一人の男は、正直こんな機会でもなければ仲良くできそうにないタイプの奴でしたが、1週間異国で一緒という状況でいい友人になれました。教育の女子2人とも良い友達です。

5月、7人しか落ちない運動器の追試対象者に僕が入っていることを告げる残念なお知らせが貼られる掲示板に、慶應生理学の岡野栄之氏の講演会の案内を認めました。講演会という場ではできるだけ前に座り、質疑応答の際に真っ先に手を上げ質問すればどんな大物の人も名刺をくれる、という僕の経験則は思惑通り今回も通用し、iPS細胞を用いた脊髄損傷モデルマウスの神経再生に成功した日本随一の研究者が僕のアドレス帳のカテゴリー「V.I.Ps」加わりました。

そこで、来週から基礎配属でお世話になる松下先生に、いっそ慶應の岡野先生のところで基礎配できないか思い切って相談したところ、軽くあしらわれ、基礎配の3週間の様子次第で、夏休みに岡野研に見学に行ける推薦状をいただけることになりました。この講演会の案内を貼っていただいた千葉先生にはこの場を借りてお礼申し上げます。（この冊子が先生方にも届くのか知りませんが笑）

ところで、正直何となく医学科にきてしまい、学年が上がってもいまいち臨床に興味が持てず、将来が不安だったり、自己嫌悪や劣等感でよく眠れなくなる僕の最近の座右の銘は「Que Sera Sera」

（ケ・セラ・セラ）です。Doris Dayというアメリカ歌手が歌うこのフレーズをたまたま聞いたとき、2年前旅したヨルダンという中東の国で教えてもらった「ムシケラケラ」という表現を思い出しました。何となく似ているこの二つのフレーズはともに、何とかなるさ、気楽にやれよ、未来は分からないものだ、そんなニュアンスを表します。何かで調べたわけでも、専門家に聞いたわけでもありませんが、スペイン語に由来するというQue Sera Seraと、中東のムシケラケラは、おそらく同じ語源だろうと勝手に推察しています。

思えば、去年この南風に投稿していなければシンガポール派遣に参加することもなかったかもしれません。この派遣の情報を知ったのは、僕が所属する全学の英会話サークルを通じてでした。そして、このサークルに入ったきっかけは去年の夏休みに通った全学のTOEIC勉強会でした。さらに、この勉強会の存在を教えてくれたのは陸上部の先輩で、その先輩は僕が去年投稿した記事を読み、僕が英語の勉強をしたがっていることを知り、それを教えてくれたようです。先のシンガポールが去年書いた記事のおかげとするならば、全く思いもしない因果でした。今こうして書いているこの文章も、また何かを呼び込んでくれるのでしょうか。

明日から渡嘉敷研修です！来週控える法医学と公衆衛生のテストに不安あり、もう4時を回っているのに起きれるか心配です！松下先生は慶應岡野研への切符をくれるのでしょうか。九山で2年生二人が入賞し、新しく2人部員が入った医学部陸上部は今後もムシケラケラでしょう。ですがあの分厚いCBT問題集。僕の将来はどうなるのか。とりあえず、明日晴れるといいな。Que Sera Sera!

3年次の近況について

崎 山 広 大（3年次）

みなさん初めまして。今回新3年次の近況報告をさせていただくことになりました、崎山広大です。

僕たちの学年は、2年への進級時に大幅に人数が減ってしまったことや、2年後期での厳しい試験たちに揉まれたりと、きついことがたくさんあり、無事新3年次となれたメンバーはほっとしていることと思います。31期は変革の学年で、医学部の